

**製品名: GH1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81741**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	24.8kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GH1
別名	GH; GHN; GH-N; GHB5; hGH-N; IGHD1B
遺伝子 ID	2688.0
SwissProt ID	P01242
免疫原	大腸菌で発現したヒト GH1 (AA: 1-217) の精製された組み換え断片。

**背景**

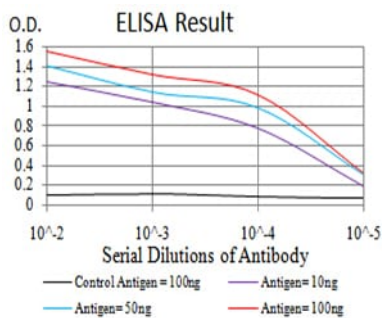
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、成長制御に重要な役割を果たす成長ホルモン/プロラクチンファミリーのホルモンの一種です。この遺伝子は、他の4つの関連遺伝子とともに、17番染色体の成長ホルモン遺伝子座に位置し、同じ転写方向で点在して

います。この配置は、一連の遺伝子重複によって進化したと考えられています。5つの遺伝子は、非常に高い配列同一性を共有しています。選択的スプライシングによって、5種類の成長ホルモンそれぞれに新たなアイソフォームが生成され、さらなる多様性と特殊化の可能性が生まれます。このファミリーメンバーは、成長ホルモン遺伝子座の他の4つの遺伝子とは異なり、下垂体で発現しますが、胎盤組織では発現しません。この遺伝子の変異または欠失は、成長ホルモン欠乏症と低身長につながります。

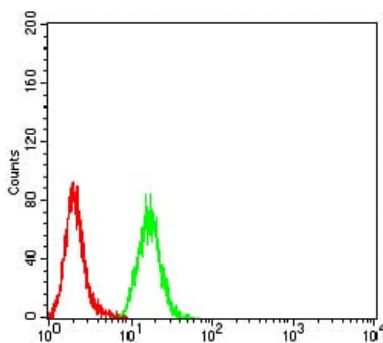
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



GH1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。